

こおろぎ

発行日 2002年12月1日 No.117
発行元 株式会社
オリジン・コーポレーション
代表取締役：杉井保之
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187
E-mail origin@ck.tnc.ne.jp

人の話が聴けますか？

私は色々な企業の経営者から相談を受けることがあるのですが、意外なほど社長から何う話と、社員さん達から聞く話が食い違っていることがあります。

フォードの創立者のヘンリー・フォードは、「成功の秘訣は何か？」と尋ねられて、「相手の立場で見ることだ」と答えています。私たちは他の人から見える景色を、本当に見ようとしているのでしょうか？

私には、太陽が地球の周りを回って見えます。しかし、実際には太陽が地球の周りを回っているのではなく、地球が太陽の周りを回っているのです。このように私たちが見ている事実は、あくまで私たちを中心とした事実なのです。

まして経営者は他の人より多くの情報を持ち、何が良いかを判断できる知識・経験を持っています。そうなればなるほど他の人の意見より自分の判断が正しく見えるものです。そして自分と違った意見を、「間違っている」と判断してしまいがちなのです。

実際のマーケットにおいても、プロが一番良いと思う物が一番売れているのではなく、素人であるお客様が良いと思ったものが買われているように、経験を積み、プロになればなるほど、実は一般の人の感覚から離れていく恐れがあるのです。

この数年、優秀で自信のある経営者が、どれほど自分の正しさゆえに衰退していったことでしょうか？

人は自分の考えを正しいものと思いたいものです。ですから色々なことを学ぶにしても、自分の考えと同じものを学びがちです。しかし、それでは自分の正しさを強化するだけの行動になってしまいます。もし自分と違う意見があったら、それこそ知っておきたい内容ではないのでしょうか？

私は自分にとって耳の痛い話ほど参考になる話はないと思っています。それなのに、そうした話を聴こうとしない人が意外と多いようです。実は、教えて欲しくても、肩書きが付いたり、ある年齢になると教えてさえもらえなくなるのです。

「経営の神様」といわれた松下幸之助さんの口癖は、「あんた、どう思う？」だったそうですが、「あんた、どう思う？」と聞いたとき、本当のことを言ってくれる人がいる人は幸せな人だと思います。あなたにはどれだけの人が言ってくれますか？

「あんた、どう思う？」と尋ねもしないのに言ってくれる妻には心から感謝しなくてはなりませんね。トホホ・・・

なぜ勉強が嫌いだったか？

勉強は、出来なかったことが出来るようになったり、わからなかったことがわかるようになる、楽しいものです。

それなのに、私はずっと勉強が大嫌いでした。どうして私は勉強が嫌いだったのでしょうか？

以前の私は、夏の暑い日や、冬の木枯らしの中、ジョギングしている人を見かけると、「何が悲しくて走っているのだろうか？」と思っていました。そう思ったのは、私にとって走ることは苦しくて、大変なことだったからです。

私が子供の頃は、マラソン大会で上位に入賞する人は学校のスターでした。ですから私も速く走ったら、皆に認められるような気がして頑張って走ったものでした。しかし、力以上に速く走れば無理になります。無理をすれば当然苦しく、苦しければ嫌いになるのは当たり前のことです。

数年前、足に障害を負った青年と一緒にマラソン大会に出場し、私には、ただ辛く苦しいことだと思っていたマラソンを、こんなにも走りたがっている人達がいることを知り、自分がないものばかりを求め、今ある喜びを何も大切にしていなかったことを教えられました。また、「速く走る」という「今の結果」に目を奪われ、走ることを嫌いになっていたのだと思いました。

勉強も同じで、目の前に迫ったテストで良い成績を出すためだけに勉強をしていました。ですから、テストが終わったら全て忘れてしまっても良かったのです。

しかし、人生は今だけではありません。目の前の結果ばかりに囚われていると、次のテストではまた同じ苦しみを味わわなくてはならないのです。それでは大抵の人が勉強嫌いになるのもうなずけます。

目先の結果で一喜一憂するのではなく、今を人生のプロセスと捉え、積み上げていくことを楽しみたいものだと思います。実際、この歳で大学に入り、自分の為に勉強をしてみると不思議なくらい勉強が楽しく、テストが嫌ではないのです。

こうしたことは子どもだけに言えることではなく、企業でも今の結果ばかりに囚われているために、自力を高める努力を後回しにして、仕事を苦しいものになっている会社がたくさんある気がします。

親にすると、子供の今の成績が気になり、将来を心配するかもしれませんが、その結果、勉強が嫌いになってしまったら元も子もないことですね。

今は人生の通過点に過ぎません。一時的な結果のために無理をするより、楽しみながら努力を積み上げていこうと思います。

いつもこおろぎありがとうございます。
今回のこおろぎ「日本人」は今ままで、最も感銘を受けました。拉致された増元のみ子さんの父上は亡くなる前、ビデオで病床からメッセージを託しました。「ワシは日本を信じる。だから、おまえ（るみ子さん）も日本を信じる」と今年、呼吸器ごしに語り、亡くなりました。今回の件は、戦後、日本人が日本人を意識し、又、思いを一億人が共感した最大の事件です。日本人を情けなく思ったと同時に、「日本人をナメなよ！」と思いました。まだまだ捨てたもんではありません。「まだまだ終わらん」と思うこの頃です。

入社して、十一年。貯金の貯の字も知らなかった私
が、杉井さんに半分強制されて天引き貯金を始め、とうとう今月、自宅を新築する事が出来ました。まさかこんなに早く建てられるとは思いませんでした。が、出来上がってみると、やっぱり良いもので、「家に帰る」事だけでも楽しみ（幸せ）の一つになりました。でも幸せの裏側にローンのお山です。家族のためにも一歩一歩大切に、がんばローンと思

講演、有難うございました。
最近では、公衆浴場でさえ身体を洗わずに湯に入る人や、身体を拭かずに脱衣所に上がる人がいると伺って、にわかには信じられませんでしたが、研修中よく観察してみますと、杉井先生がスリッパを揃えてくれているのに、バラバラにしている人がいたり、身体を流すだけで湯船に入る人が多いのに驚かされました。これまで気にもしていませんでしたが、教育関係の集まりと見られていると思うと恐ろしくなりました。
他人事ではなく、自分のこととして意識していきたいと思いました。ありがとうございます。

こおろぎ 116号有難く拝受。
日本人よ、ありがとうの詩、親日の外国人の言に真剣に耳を傾ける最後の重要な時を迎えているように思います。
食べたい放題、言いたい放題、したい放題の三放題を深省、謙虚さや勤勉さを取戻し、もつと物や心を大切にしていかなければ、過去の盛者必滅の徹を踏むこと必至。ご自愛ください。